



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 日本化学産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4094

URL <https://www.nihonkagakuangyo.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 角谷博樹

問合せ先責任者（役職名） 執行役員

（氏名） 吉田 豊

（TEL） 03-5246-3544

経営企画室部長

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日

2025年12月8日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	13,289	6.2	1,517	△0.6	1,734	△1.2	1,253	0.8
2025年3月期中間期	12,514	15.8	1,526	60.7	1,755	53.0	1,243	61.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,687百万円（174.6%） 2025年3月期中間期 978百万円（△9.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	64.43	—
2025年3月期中間期	63.94	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	56,559	48,277	85.4
2025年3月期	54,303	46,478	85.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 48,277百万円 2025年3月期 46,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	45.00	75.00
2026年3月期	—	45.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	26,200	3.0	2,680	△6.3	3,100	△3.5	2,220	△5.8

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	20,280,000株	2025年3月期	20,280,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	819,359株	2025年3月期	819,409株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	19,460,593株	2025年3月期中間期	19,448,436株

注）期末自己株式数には、役員及び従業員向け株式交付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2026年3月期中間期296,218株、2025年3月期296,268株）が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）における日本経済は、中国経済の低迷、インフレ傾向の継続、米国の関税政策の経済への影響等、依然として不透明な要素があるものの、個人消費は底堅く推移し、設備投資についても堅調な動きを維持いたしました。

このような状況のもと、当社グループは2023年10月よりスタートした中期経営計画に基づき、2030年のありたい姿を視野に入れ、持続的な成長を目指しており、当中間連結会計期間も計画に沿って施策を推進しております。特に、リチウムイオン電池リサイクルパイロットプラント建設は計画通り進捗し、サステナブルな社会への貢献と事業基盤の構築に向けて取り組んでおります。また、既存分野では、製品の販売・生産数量の確保・拡大に加え、新製品・新規用途開発品の早期の実績化及び新規ユーザー開拓にも継続して取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の当社グループ全体の売上高は前年同期比775百万円 6.2%増の13,289百万円となりました。営業利益につきましては、薬品事業は堅調に推移したものの、販売費及び一般管理費の増加等により、前年同期比8百万円 0.6%減の1,517百万円となりました。経常利益は前年同期比21百万円 1.2%減の1,734百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比10百万円 0.8%増の1,253百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。

① 薬品事業

主力の薬品事業では、主要な分野である電子工業の出荷額は引き続き緩やかな回復基調にあり、国内市場における販売数量の拡大や、一部の非鉄金属相場の高騰等が売上高及び利益の増加に貢献いたしました。労務費、物流コスト等が増加する一方で、販売単価アップ、生産コスト削減に加え、東アジア及び東南アジアでの需要拡大に対応した海外（タイ）子会社であるサイアム・エヌケーエス社の業績伸長等によりセグメント利益が拡大いたしました。二次電池用正極材の受託加工は、世界のEV販売台数の成長に陰りがみられる不透明な状況におきましても、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同期比688百万円 6.4%増の11,422百万円となり、また、セグメント利益は前年同期比46百万円 2.8%増の1,745百万円となりました。

② 建材事業

建材事業では、新設住宅着工戸数の減少等、厳しい事業環境が続いております。このような環境下、新規顧客の開拓や新製品の拡販に努めております。当中間連結会計期間では、2025年4月に施行された建築基準法改正等による短期的な需要の変動はあったものの、前年同期に比べ増収となりました。一方、労務費を中心とする固定費の増加により、セグメント利益は微減となりました。

この結果、売上高は前年同期比86百万円 4.9%増の1,867百万円となり、また、セグメント利益は前年同期比3百万円 1.2%減の275百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債の状況及び純資産の状況

当中間連結会計期間における流動資産は、長期預金の振替によって現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末比5,013百万円増の33,516百万円となりました。一方、固定資産は、前連結会計年度末比2,758百万円減の23,043百万円となりました。このうち、有形固定資産はリサイクルパイロットプラント建設の進捗等に伴い建設仮勘定が増加しましたが、機械及び装置等の減価償却が進んだことにより、前連結会計年度末比55百万円減の8,368百万円となりました。また、投資その他の資産は保有株式の時価の上昇があったものの、長期預金が増減したこと等により、前連結会計年度末比2,694百万円減の14,570百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末比2,255百万円増の56,559百万円となりました。

一方、流動負債は短期借入金が増減したことにより、前連結会計年度末比337百万円減の5,326百万円となり、固定負債がその他有価証券評価差額金増加に伴う繰延税金負債の増加により、前連結会計年度末比794百万円増の2,956百万円となったことから、負債合計では前連結会計年度末比457百万円増の8,282百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比1,798百万円増の48,277百万円となり、この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の85.6%から85.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,569百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローで4,427百万円増加、財務活動によるキャッシュ・フローで1,069百万円減少し、この結果、換算差額による影響額等も含めると、当中間連結会計期間末は、前連結会計年度末に比べ4,840百万円増加し、15,059百万円となりました。また、前年同期比では281百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金は、1,569百万円の増加(前年同期は1,825百万円の資金の増加)となりました。この主な要因は法人税等の支払額443百万円、売上債権の増加385百万円があったものの、税金等調整前中間純利益1,722百万円、減価償却費515百万円、利息及び配当の受取額161百万円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金は、4,427百万円の増加(前年同期は5,465百万円の資金の減少)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,061百万円があったものの、定期預金の払戻による収入5,100百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金は、1,069百万円の減少(前年同期は538百万円の資金の減少)となりました。この主な要因は、配当金の支払額885百万円、短期借入金の返済による支出183百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の実績および現時点で入手可能な情報に基づき、2025年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想を修正し、売上高26,200百万円、営業利益2,680百万円、経常利益3,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,220百万円に上方修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績につきましては、様々な要因によって異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,418,395	20,259,134
受取手形及び売掛金	6,948,707	6,980,788
電子記録債権	943,277	1,255,840
商品及び製品	2,062,624	1,741,258
仕掛品	1,242,391	1,542,009
原材料及び貯蔵品	1,722,980	1,662,052
その他	165,141	76,346
貸倒引当金	△1,200	△1,220
流動資産合計	28,502,318	33,516,211
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	2,337,477	2,136,484
その他（純額）	6,086,989	6,232,486
有形固定資産合計	8,424,467	8,368,971
無形固定資産	112,037	104,046
投資その他の資産		
投資有価証券	8,854,753	11,162,822
繰延税金資産	7,100	6,009
長期預金	7,100,000	2,100,000
その他	1,304,808	1,303,242
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	17,265,092	14,570,503
固定資産合計	25,801,598	23,043,521
資産合計	54,303,916	56,559,733
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,743,976	2,732,144
電子記録債務	437,955	408,347
短期借入金	263,800	80,000
未払法人税等	446,982	467,573
賞与引当金	420,000	440,000
役員賞与引当金	40,000	13,750
その他	1,310,888	1,184,579
流動負債合計	5,663,603	5,326,394
固定負債		
繰延税金負債	1,627,281	2,384,183
退職給付に係る負債	350,728	350,899
役員株式給付引当金	95,689	106,801
従業員株式給付引当金	-	26,583
資産除去債務	40,735	40,864
その他	47,006	46,895
固定負債合計	2,161,442	2,956,229
負債合計	7,825,045	8,282,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	856,908	856,908
利益剰余金	40,905,658	41,270,455
自己株式	△920,903	△920,830
株主資本合計	41,875,663	42,240,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,272,862	4,923,936
為替換算調整勘定	1,173,651	985,255
退職給付に係る調整累計額	156,692	127,384
その他の包括利益累計額合計	4,603,206	6,036,575
純資産合計	46,478,870	48,277,109
負債純資産合計	54,303,916	56,559,733

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	12,514,062	13,289,398
売上原価	9,381,821	10,080,558
売上総利益	3,132,241	3,208,839
販売費及び一般管理費	1,605,923	1,691,286
営業利益	1,526,317	1,517,553
営業外収益		
受取利息	6,630	38,433
受取配当金	107,517	122,434
不動産賃貸料	39,365	40,309
為替差益	51,429	-
その他	45,164	56,692
営業外収益合計	250,108	257,871
営業外費用		
支払利息	3,366	1,004
賃貸収入原価	17,330	15,840
為替差損	-	23,961
その他	90	166
営業外費用合計	20,786	40,972
経常利益	1,755,639	1,734,452
特別利益		
固定資産売却益	53	2
投資有価証券売却益	42,041	12,348
特別利益合計	42,095	12,351
特別損失		
固定資産除却損	11,559	24,204
特別損失合計	11,559	24,204
税金等調整前中間純利益	1,786,175	1,722,598
法人税等	542,635	468,743
中間純利益	1,243,539	1,253,855
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	1,243,539	1,253,855

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,243,539	1,253,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△416,085	1,651,073
為替換算調整勘定	175,578	△188,395
退職給付に係る調整額	△24,467	△29,308
その他の包括利益合計	△264,974	1,433,369
中間包括利益	978,565	2,687,224
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	978,565	2,687,224
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,786,175	1,722,598
減価償却費	499,590	515,933
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△80	20
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,000	20,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,000	△26,250
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△5,939	△4,958
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,462	998
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△12,898	11,112
従業員株式給付引当金の増減額(△は減少)	-	26,583
受取利息及び受取配当金	△114,147	△160,868
支払利息	3,366	1,004
固定資産売却損益(△は益)	△53	△2
投資有価証券売却損益(△は益)	△42,041	△12,348
固定資産除却損	11,559	24,204
売上債権の増減額(△は増加)	145,521	△385,627
棚卸資産の増減額(△は増加)	△230,216	48,294
仕入債務の増減額(△は減少)	18,604	△22,488
その他	16,409	94,226
小計	2,075,310	1,852,433
利息及び配当金の受取額	114,901	161,608
利息の支払額	△3,366	△1,004
法人税等の支払額	△361,333	△443,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,825,512	1,569,554
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	200,000	5,100,000
定期預金の預入による支出	△5,200,000	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△522,905	△1,061,484
有形固定資産の売却による収入	35,568	2
無形固定資産の取得による支出	△39,566	△8,915
投資有価証券の取得による支出	△16,856	-
投資有価証券の売却による収入	93,330	114,558
生命保険積立金の解約による収入	2,613	10,311
生命保険積立金の積立による支出	△16,890	△16,874
補助金の受取額	-	405,767
その他	△765	△15,869
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,465,471	4,427,496

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	469,000	-
短期借入金の返済による支出	△432,800	△183,800
自己株式の売却による収入	7,489	-
配当金の支払額	△581,633	△885,044
その他	△159	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△538,104	△1,069,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,911	△87,295
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,146,150	4,840,739
現金及び現金同等物の期首残高	19,487,270	10,218,395
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,341,119	15,059,134

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,733,730	1,780,331	12,514,062	—	12,514,062
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,733,730	1,780,331	12,514,062	—	12,514,062
セグメント利益	1,698,637	278,533	1,977,171	△450,853	1,526,317

(注) 1. セグメント利益の調整額△450,853千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,422,123	1,867,275	13,289,398	—	13,289,398
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,422,123	1,867,275	13,289,398	—	13,289,398
セグメント利益	1,745,395	275,151	2,020,546	△502,992	1,517,553

(注) 1. セグメント利益の調整額△502,992千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	8,505,885	1,780,331	10,286,217
海外	2,227,844	—	2,227,844
計	10,733,730	1,780,331	12,514,062

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	9,018,226	1,867,275	10,885,502
海外	2,403,896	—	2,403,896
計	11,422,123	1,867,275	13,289,398